

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働者福祉・共済](#) | [協同組合](#) | [協同組合と労働組合](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[協同組合](#)[労福協](#)[労働金庫](#)[全労済](#)[県生協連](#)[勤労者信用基金協会](#)[年金福祉協会](#)[福祉基金協会](#)[ユニオントラベル](#)[教育カリキュラム](#)[🔍 キーワード検索はこちら](#)

協同組合と労働組合

1、 協同組合と労働運動



協同組合も労働運動も、勤労者・市民が主体となって“相互扶助”や“協同・連帯の理念や手法”によって、生活上の問題解決に向け働きかける活動です。

2、 生協運動・労働運動は同じ源流をもつ社会運動



(生協運動の父、賀川豊彦 1888年～1960年)

2009年に、わが国の生協運動の父といわれ、協同組合運動・労働運動・農民運動などの社会運動に先駆的な役割を果たした賀川豊彦が、神戸の貧しい地区で救済活動を始めて100年となりました。賀川は、その後「救済から防貧へ」というスローガンを掲げ、様々な社会運動・事業を一体のものとして実践していきます。

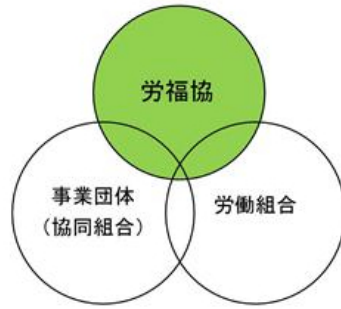
労働者福祉運動も、そうした源流の中から生まれました。

3、 労働組合と協同事業団体が一体となった労働者福祉運動

全国の労働者福祉協議会（労福協・福対協）は、戦後の廃墟の中から、労働組合や協同組合が組織の枠組みを超えて「福祉はひとつ」で結集するところから生まれました。労働運動と協同事業が車の両輪となって、「貧困をなくそう」「労働者のための銀行、共済をつくろう」と、夢と情熱をもって相互扶助による“労働者（自主）福祉運動”が展開されました。

労福協と協同組合が一体となり、労働者福祉の向上に努めている。労働者福祉の向上に努めている。労働者福祉の向上に努めている。

民間に存在する労福協、へこへこの労福協が、社会で活躍している労働者、高付を目的とした労働組合と協同事業団体が一体となって、国民の共感を呼ぶ社会運動や事業の展開に大きな期待が寄せられています。



資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.